

SciREX センターワーキングペーパー刊行規定（2023 年 3 月 13 日版）_執筆者用

1. SciREX ワーキングペーパー(SciREX-WP)の目的

- 科学技術イノベーション政策に係る本センターの研究成果を広く明らかにする。
- 研究成果に対し幅広くコメントを求め、議論を深める。

2. SciREX-WP の執筆者

- イ) SciREX センターに所属する教職員
- ロ) 「政策のための科学」教育拠点所属教職員および学生（SciREX センターインターンを含む）
- ハ) SciREX 事業政策リエゾン
- ニ) SciREX 事業関係機関に所属する研究者/職員
- ホ) その他、SciREX センター センター長代理および副センター長が認めた者（プロジェクト参画者等）

※ SciREX-WP の著作権は各執筆者に帰属する。

3. SciREX-WP 刊行審査プロセス

3-1. 執筆者はドラフトを作成し、企画・運営部門に提出する。

（ア）このとき、“5. SciREX-WP 執筆要領”を遵守し、体裁はテンプレートに沿う形で責任をもって整えること。

（イ）登録申請書に必要事項を記載の上、ドラフトと併せて提出すること

3-2. SciREX センターより審査を委嘱された者が刊行審査を行う。

- ・ 刊行審査は受領から原則として 1 カ月以内に完了。

3-3. SciREX センター企画・運営部門は執筆者に対して審査結果を通知する。執筆者は審査結果を踏まえ、ドラフトの修正を行う。**本修正は審査結果受領から原則として 1 カ月以内に完了させること。**

3-4. 執筆者は修正が完了次第、完成版を SciREX センター企画・運営部門に送付する。

3-5. 刊行審査にて GRIPS 学術機関リポジトリへの掲載が適当であると認められた場合、SciREX センター企画・運営部門にて SciREX-WP テンプレートに従い表紙等

の体裁を調える。

※なお、上述の刊行審査は通常の学術雑誌における査読とは性格が異なるものであり、刊行審査を通過した SciREX-WP を通常の学術雑誌における査読を通過したものとして申告することはできない。

4. SciREX-WP 公開プロセス

4-1. SciREX-WP 公開に係る承認を SciREX センター センター長代理および副センター長が行う。

4.2. 刊行審査にて GRIPS 学術機関リポジトリへの掲載が適当であると認められた場合、SciREX センターWP シリーズ (SciREX-WP) として学術機関リポジトリ委員会に申請する。

4.3. レポジトリ上への公開後、SciREX ポータルサイト上で該当ページへリンク付けする形で情報を公開する。

4.4. 刊行審査にて GRIPS 学術機関リポジトリへの掲載が適当でないと判断された場合、執筆者が希望する限りにおいて、SciREX ポータルサイトの「成果・資料」(<https://scirex.grips.ac.jp/resources/>) 上に pdf 化した原稿を公開することを検討する。ただし、この場合は SciREX-WP ではなく「報告」とする。

※ SciREX-WP は pdf 形式での公開を基本とする。

5. SciREX-WP 執筆要領

5-1. SciREX-WP の構成

SciREX-WP の執筆にあたっては以下の項目が必ず含まれること

(日本語での執筆の場合)

- a. タイトル (日本語/英語)
- b. アブストラクト (英語; 250-400words 程度) および エグゼクティブサマリー (日本語)
- c. 本文
- d. 参考文献
- e. 目次

(英語での執筆の場合)

- a. Title (Eng/Jpn)
- b. Abstract (Jpn; 250-400 words) / Executive summary (Eng)
- c. Manuscript

d. References

5-2. SciREX-WP 文中での引用の明記方法

以下のように引用すること。

(Kogut et al., 1990; Nelson, 1991, 2000)

5-3. 参考文献/References の表記方法

参考文献の表記については、以下の例に従うこと

<英文>

[書籍]

Clark, Kim B., and Takahiro Fujimoto.

1991. Product Development Performance: Strategy, Organization, and Management in the World Auto Industry. Boston, MA: Harvard Business School Press.

Carson, Rachel.

1962. Silent Spring. Boston, MA: Houghton Muffin (レイチェル・カーソン『生と死の妙薬』青樹繁一訳, 新潮社, 1987 年) .

[ジャーナル／ブックチャプター／ワーキングペーパー]

Adelman, Morris. A.

1961. "The Antimerger Act, 1950-1960." American Economic Review 51 (May): 236-244.

Nonaka, Ikujiro, and Noboru Konno.

1998. "The Concept of 'Ba': Building a Foundation for Knowledge Creation." California Management Review 40(3): 1-15.

Anderson, Erin.

1985. "Implications of Transaction Cost Analysis for the Management of Distribution Channels."

In R. E. Spekman, ed., Proceedings: A Strategic Approach to Business Marketing, pp.160-168. Chicago: American Marketing Association.

———, and David Schmittlein.

1984. "Integration of the Sales Force: An Empirical Examination." RAND Journal of Economics 15 (Autumn): 385-395.

Shi, Jianhuai.

2001. “Financial Innovations in China, 1990-2000.” Institute of Innovation Research Working Paper WP#01-12.

[Web Site]

Die Neue Hightech Strategie, Innovationen fur Deutschland

2014. “Industrie 4.0” <http://www.hightech-strategie.de/de/Industrie-4-0-59.php>
[閲覧: 2015/6/23]

<和文>

[著書]

延岡健太郎

1996. 『マルチプロジェクト戦略——ポストリーンの製品開発マネジメント』
有斐閣.

[ジャーナル／ブックチャプター／ワーキングペーパー]

西口敏宏

2000. 「よりよい日本の防衛調達を求めて」『ビジネスレビュー』47(4): 20-36.

西口敏宏

1996. 「共生進化のマネジメント」ダイヤモンド・ハーバード・ビジネス編集部編
『アウトソーシングの実践と組織進化』所収, pp. 123-201. ダイヤモンド社.

青島矢一・武石彰

2001. 「アーキテクチャという考え方」青島矢一・武石彰編『ビジネス・アーキテクチャ——製品・組織・プロセスの戦略的設計』所収, pp. 27-70. 有斐閣.

[ウェブ]

文部科学省

2015. 「宇宙開発利用部会 国際宇宙ステーション・国際宇宙探査小委員会（第15回）
議事録」,

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu2/071/gijiroku/1359342.htm

[2015.6.27 閲覧]